

新型コロナウイルス感染症発生時の 大会参加ガイドライン（オミクロン株）

令和4年6月17日

山梨県教育庁保健体育課

はじめに

本ガイドラインは、「運動部活動再開ガイドライン Revise6」の趣旨を踏まえつつ、大会において感染者等を出さないなど生徒にとって安全・安心な発表の場となるよう、新型コロナウイルス感染症発生時の考え方などを示したものである。

各学校においては、本ガイドラインの内容を丁寧に生徒・保護者等に説明するとともに、関係者の共通理解のもと適切な対応をお願いする。

1 改訂の趣旨等について

令和4年5月27日付け新対第692号「オミクロン株の特性を踏まえた積極的疫学調査の重点化について」(山梨県知事直轄組織感染症対策統括官)において、学校等で感染者が発生した場合の基本的な考え方及び今後の対応について次のとおり示された。

○ 基本的な考え方

- ・ 所管部局の指導等により一般的な感染防止対策は講じられており、感染拡大リスクは必ずしも高くない。
- ・ 同一世帯に比べて濃厚接触者の特定に時間がかかるため、感染スピードが速いオミクロン株では、感染拡大防止に対する効果は薄い。よって、濃厚接触者の特定を行う必要性は低い。
- ・ 社会機能維持及び学びの継続の観点から事業継続が求められる施設であり、一定数以上の有症状者が発生した場合には、積極的に介入し、感染拡大防止を図る必要がある。

○ 今後の対応

- ・ 濃厚接触者の特定、行動制限、濃厚接触者への検査は、陽性者発生後の感染の広がり状況等に応じて実施する。
- ・ 具体的には、陽性者1人が確認された集団で、その周辺に複数人の咳、咽頭痛などの有症状者がいる場合には、「新型コロナウイルス感染症発生報告書」により保健所に報告を求め、保健所が施設の感染防止対策の状況を聴取し、感染拡大防止に必要な支援・助言を行う。
- ・ その際、感染防止対策が不十分な場合や、感染防止対策がとられているが、5人以上の陽性者が発生した場合には、積極的疫学調査を行う。

このことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症発生時の大会参加ガイドラインRevise-3.0「P2、2 大会開催前に感染者が発生した場合の入院等期間のイメージ」、「P3、3 濃厚接触者・接触者について」、「P5、5 大会期間中に感染者が発生した場合の個人としての考え方」及び「P6、6 大会期間中に感染者等が発生した場合のチームとしての考え方(1)～(3)」について、項目の削除や改訂を行うこととした。

なお、本ガイドラインは、あくまで大会が始まる前まで(例えば、開会式前)の考え方を示したものであるため、大会中におけるこれらの対応は、主催者が示すガイドライン等を遵守すること。

2 濃厚接触者、感染リスクが高い者について

	定 義	大会参加
濃厚接触者	<ul style="list-style-type: none"> ・発症日（無症状の場合は検体採取日）2日前より、感染者と同居あるいは長時間の接触、または、手で触れることが出来る距離（1m程度以内）で必要な感染予防策なし（マスクを着用していない）で15分以上接触のあった者 	<p>PCR検査等の実施の有無に関わらず、保健所の指定した自宅観察期間は、大会参加不可。 （原則7日間）</p>
感染リスクが高い者	<ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触者に相当する者として、下記の例を参考に学校において判断する。 （例） ○手が触れる距離（約1m以内）で、15分以上の接触があった者 例：会話、運動、合唱、飲食（黙食ができていた場合は除く）など ○陽性者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接接触した可能性の高い者 例：互いにマスクなしでの会話、運動、合唱など ○換気が不十分な空間で接触があった者（時間の長さに関係なく） 例：部室、更衣室、車内など ※鼻出しマスクや顎マスク等、不適切な状態でなかったかも確認 	<p>出席停止期間は大会参加不可 ※出席停止は学校が判断</p>

※令和4年6月17日付教保体第807号「学校において感染者が発生した場合の考え方（オミクロン株）」を参照

3 大会前に感染が判明した場合の学校としての考え方

生徒等に感染が判明した
場合

学校が臨時休業措置

チームが
参加不可

学年が臨時休業措置

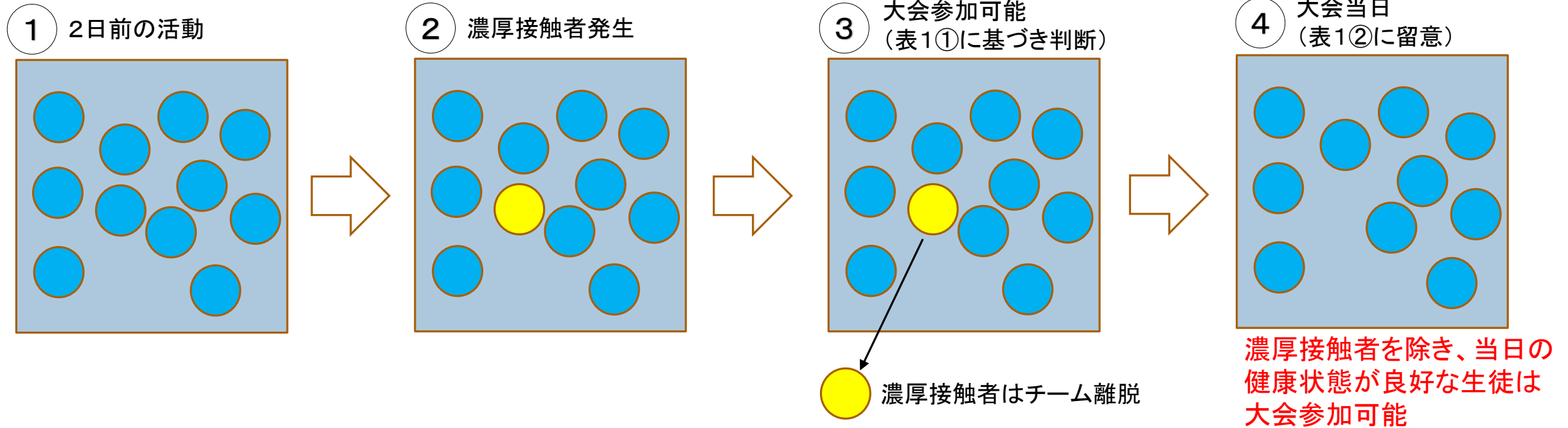
該当学年
生徒が
参加不可

学級が出席停止措置

該当学級
生徒が
参加不可

4 大会前に感染者等が発生した場合のチームとしての考え方

(1) 大会前にチーム内に濃厚接触者が発生した場合の考え方(家族由来)



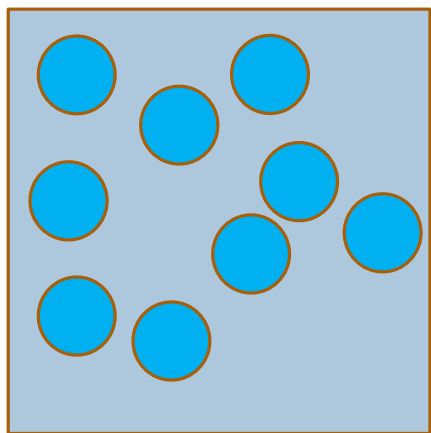
- 健康
- 感染者
- 濃厚接触者
- 感染リスクの高い者

- 表1 【大会参加に当たって】
- ① 学校における感染状況等を踏まえ慎重に判断
 - ② 健康チェックシート等の提出など各中央競技団体等が示すガイドラインに基づき適切に対応

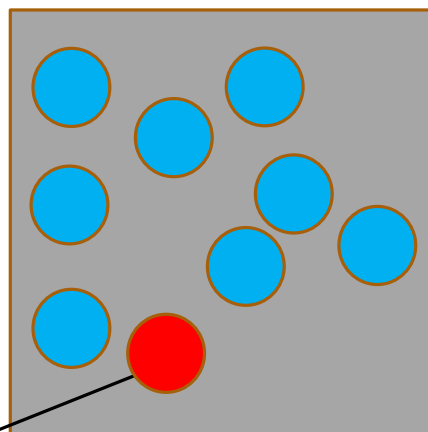
- 表2 【濃厚接触者が確認された場合】
- ・濃厚接触者の陰性が確認されなくても、濃厚接触者を除き、当日の健康状態が良好な生徒は大会への参加を可能とする。

(2) 大会前にチーム内に感染者が発生した場合の考え方(感染リスクが高くないと判断した場合)

① 2日前の活動



② 感染者発生、チームは調査のため活動停止(表1①に基づいて判断)

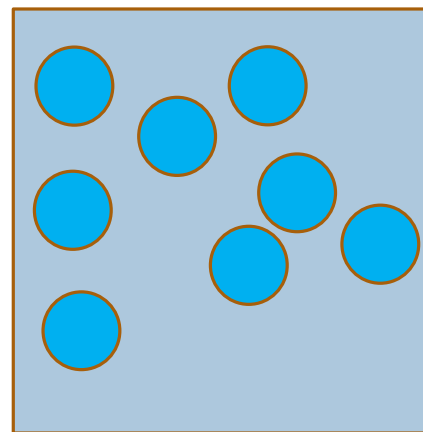


感染者はチーム離脱

※チームは感染リスクの調査を行う



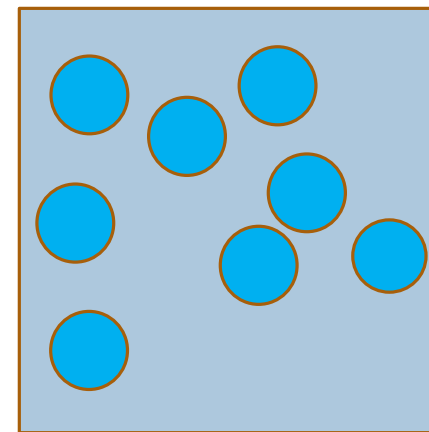
③ 感染リスクが高い者がいないと確認された場合、活動再開



※感染リスクが高い者の定義については、P.2参照



④ 大会当日(表1②に留意)



感染者を除いた生徒の当日の健康状態が良好であれば大会参加可能

- 健康
- 感染者
- 濃厚接触者
- 感染リスクの高い者

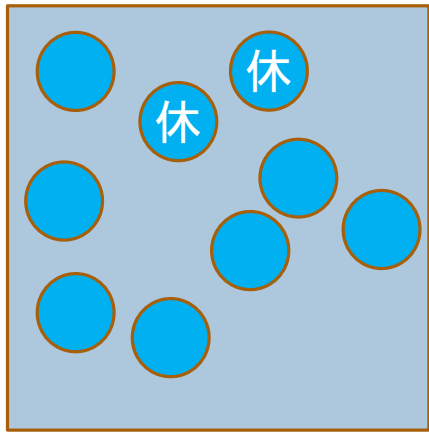
表1

【大会参加に当たって】

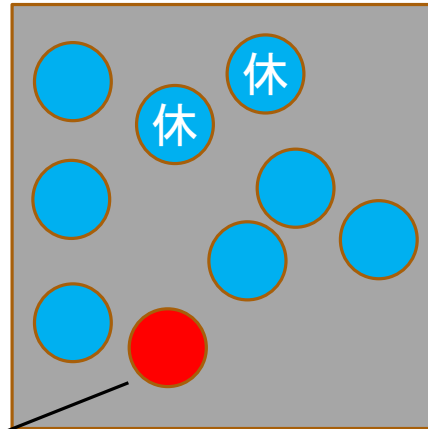
- ① 学校における感染状況等を踏まえ慎重に判断
- ② 健康チェックシート等の提出など各中央競技団体等が示すガイドラインに基づき適切に対応

(3) 大会前にチーム内に感染者が発生した場合の考え方(感染リスクが高いと判断した場合)

① 2日前の活動



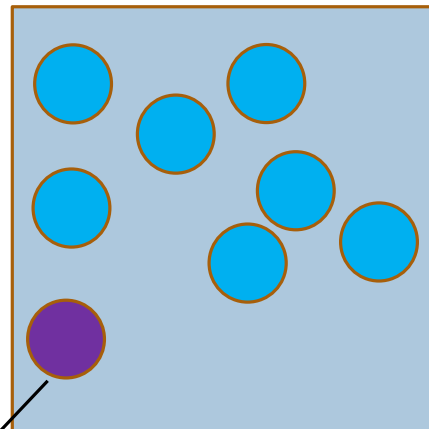
② 感染者発生、チームは調査のため活動停止(表1①に基づいて判断)



※チームは感染リスクの調査を行う

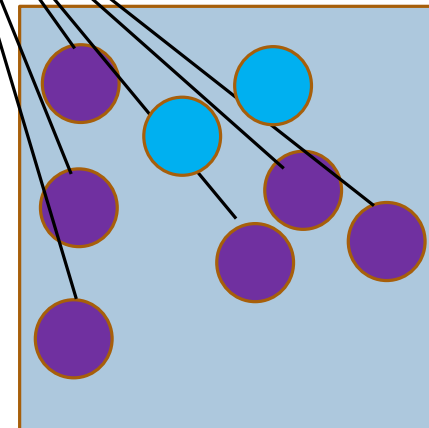
● 感染者はチーム離脱

③ 感染リスクが高い者が少数の場合、活動再開



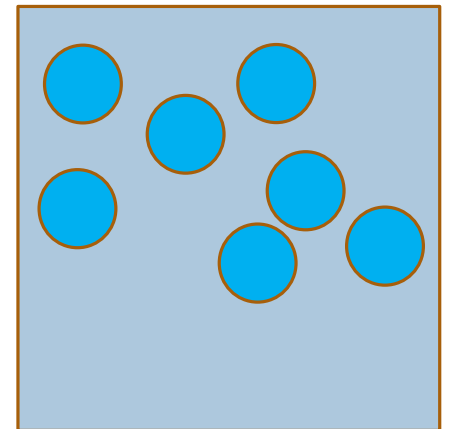
● 感染リスクが高い者はチーム離脱

③ 感染リスクが高い者が多数確認された場合



※チームの活動を再開するか否かを慎重に判断

④ 大会当日(表1②に留意)



感染者、感染リスクが高い者を除いた生徒の当日の健康状態が良好であれば大会参加可能

● 病気以外で休んでいた生徒

● 健康

● 感染者

● 濃厚接触者

● 感染リスクの高い者

表1

【大会参加に当たって】

- ① 学校における感染状況等を踏まえ慎重に判断
- ② 健康チェックシート等の提出など各中央競技団体等が示すガイドラインに基づき適切に対応